

高花五月会及び高花三丁目自治会とのグループ別対話会(ご意見と回答)

1. 日時 令和 8 年 3 月 28 日(土) 13 時~14 時

2. 場所 高花 3 丁目集会所

3. 出席者 高花五月会及び高花三丁目自治会、市長、秘書広報課

4. 内容

(1)吉田地区の新クリーンセンターについて

関係課:クリーン推進課

【参加者発言(要旨)】

・吉田地区に移転するクリーンセンターに、現在のクリーンセンターのような温水プールは併設されるのか。

【市長発言(要旨)】

・地域の皆さんからの要望に基づき、温浴施設(お風呂)、食事処、ジム、コインランドリーなどを整備する予定です。

・多くの方にご利用いただいている温水プールについては、今回は地区の要望を優先し設置しないこととなりました。高花地区からも車で 10 分程度の距離なので、ぜひ新しい温浴施設をご利用ください。

(2)牧の原駅北口の空き地と旧カワチ跡地の活用について

関係課:都市計画課、資産経営課

【参加者発言(要旨)】

・印西牧の原駅北口の空き地と、旧カワチ跡地に何ができるのか。データセンターではないのか。

・千葉ニュータウン中央駅前のデータセンターはどうなっているか。

【市長発言(要旨)】

・印西牧の原駅北口には、駅の目の前にこういうものがあつたらいいなというもの

ができる方向で進んでいます。

- ・旧カワチ跡地はURが所有しており、現時点で計画は決まっていないが、データセンターの計画はありません。

- ・千葉ニュータウン中央駅前のデータセンターは、おととしの12月に事業者に対し白紙撤回を要求し、また代替地として市の土地を提案したが、合意には至らなかった経緯があります。これ以上の介入は市に多額の賠償金が発生するリスクがあり困難と判断しました。今後は、地区計画で駅前エリアでのデータセンターの規制について検討を進めてまいります。

(3)旧東京電機大学跡地の活用について

関係課：企画政策課

【参加者発言(要旨)】

- ・旧電気大学の跡地の活用(私立の高校の誘致する考えはあるか)

【市長発言(要旨)】

- ・大学側でも土地を何らかの活用をしたいという意向があると聞いています。引き続き大学側と協議してまいります。

(4)高齢者向け商品券及び PayPay キャンペーンについて

関係課：経済振興課、高齢者福祉課

【参加者発言(要旨)】

- ・PayPay キャンペーンはなぜ一社だけなのか。また、高齢者には登録のハードルが高く、市役所で何度も手続きしてやっと登録できた人もいた。

【市長発言(要旨)】

- ・複数社で実施すると市の事務負担が非常に大きくなるため、迅速な実施とコスト面から PayPay に絞らせていただきました。

- ・PayPay が苦手な方もいることを考慮し、65 歳以上の方には別途、紙の商品券 5,000 円分を配布する二段構えの対応としました。登録でご不便をおかけした点

については申し訳なく思っています。

(5)自動運転バスの実証実験について

関係課：交通政策課

【参加者発言(要旨)】

・千葉ニュータウン中央駅と印西牧の原駅の商業エリアを周回する自動運転バスの実証実験構想はあるか。

【市長発言(要旨)】

・現在の自動運転技術はまだ実用性が低いと考えています。現時点では、エリア内の多くの乗降場所をきめ細かく巡回するデマンド型交通(ワゴン車など)の導入を検討しています。

(6)自治会活動の負担軽減と支援について

関係課：市民活動推進課、クリーン推進課、秘書広報課

【参加者発言(要旨)】

・クリーンパートナーの報酬や市民活動交付金の増額してほしい。自治会業務は負担が非常に大きく、特に行政の下請けのような業務が多い。集会所の維持管理費など、低層住宅地の実情に合わせた別途の協力金を検討してほしい。

・ゴミステーションの管理や不法投棄への対応も自治会の大きな負担となっている。

・隣接している自治会と打ち合わせしようとしても、「自分たちでやってくれ」というような、縦割り行政そのものの対応になっているので、そうではなく、市が間に入って橋渡しをしてほしい。

・防犯灯についても、実際に必要なのは隣の地区にあるサッカー場周辺で、子どもたちが利用していて非常に危険なので設置しようとしたが、「隣の自治会へ言って」という形で自治会側に任されても、とてもそんな時間はない。

・そういう自治会間の調整や橋渡しをやるのも、役所の仕事として対応してほしい。

・回覧物の量が多く自治会の負担になっている。市の広報に一本化するなど削減してほしい。

【市長発言(要旨)】

・自治会の皆様の負担は大きいと認識しています。4月から自治会対応の体制を強化していきます。いただいた資料をもとに担当課で検討し、新しい仕組みを一緒に作っていきたいと考えています。

・縦割り行政の弊害については、地域コーディネーターの配置などを検討しています。人口増に対して職員数が不足している課題もあるが、市民対応を担う部門を強化し、改善に努めてまいります。

・回覧の負担については担当課と共有し、改善に努めていきます。情報発信については広報紙への情報集約を進めています。

(7)高齢者・福祉サービスに関する要望

関係課：高齢者福祉課、社会福祉課

【参加者発言(要旨)】

・70歳以上の運転免許返納者に対し、市が保有するデータに基づき、バス運賃が半額になる優待券を申請なしで送付してほしい。

・福祉関連の手続きは、市役所本庁まで行くのが困難な高齢者も多い。申請主義から、該当者に申請書を送付するプッシュ型の支援に転換してほしい。

【市長発言(要旨)】

・(優待券について)担当課と共有し、対応を検討してまいります。

・(福祉関連の手続きについて)担当課と共有し、対応を検討してまいります。。各出張所・支所、例えば牧の原のビッグホップにある出張所もこれからさらに大きくなりますが、そうした身近な場所で色々な手続きができるようにはしようとしています。

ただ、最後までどうしても個人の方向けに残るのが福祉分野です。これは画一的なケースワークではなく、お一人おひとりによって申請する内容が変わってくるため、本来は各拠点に人を置ければ良いのですが、現実的にはなかなか難しい状況です。

今回ご提案いただいたことも含めて、何ができるのかをもう一度持ち帰って検討したいと思います。

【高齢者福祉課補足】

印西市では、70 歳以上の方を対象に「高齢者ふれあいバス等無料乗車カード・フレアイカ」を交付しており、ふれあいバス及び宗像路線、六合路線、印旛学園線の運行区間の料金が無料になります。

本人以外の利用や重複交付を防ぐ必要があるため、申請により、本人確認・交付管理を適切に行っております。

市では、運転免許返納者に係る情報を保有していないため、ご提案いただいた事業については検討に至っておりませんが、今後の高齢者の増加を見据え、移動支援に関する様々な施策について、引き続き検討してまいります。

(8)公共施設や避難場所の案内サインの拡充について

関係課:防災課

【参加者発言(要旨)】

・印西市内は地名や案内サインが分かりにくく、市民でも場所を十分把握できていない状況がある。市長が自身の住所を述べても、多くの人が場所をイメージできないほど、地域名の認知が低いと感じている。

・特に避難場所や公共施設の場所が分かりづらく、災害時に「今どこにいるか」「どこへ向かえばよいか」を説明できない不安がある。

・家族へ連絡する際にも、地名が分からないことで現在地を伝えられず、緊急時対応に支障が出る可能性がある。

・5～6 年前から個人で改善活動が続けてきたが、今後は個人ではなく、市として取り組んでほしい。

【市長発言(要旨)】

・公共施設や避難場所の案内サインについては、単に町中に表示を増やすということ以上に、「災害時などの必要な時に、必要な方々が確実に目的地へたどり着ける案内をどう実現するか」が本質的な論点だと考えております。ご指摘の通り、これまで対応が進んでいなかった点については、その通りだと認識しております。今後は、現在進めている防災体制の強化と合わせ、防災部門も巻き込みながら、実効性のある案内方法を改めて検討してまいります。

・市内の地名保全については、私自身も思い入れがあるテーマです。私自身、印旛地区の山田で生まれ育ちましたが、「山田」という大まかな括りではなく、その中の「仲井」といった、より細かい「字(あざ)」の単位で地名を残していくことが、その土地が持つ大切な歴史や文化を受け継いでいく上で極めて重要だと考えております。

・しかしながら、他の緊急性の高い案件などに多くの職員が時間を割かれているのが実情です。本来であれば、旧来の村地域に新しい人の流れを作るための規制緩和などを優先して進めたいという思いもありますが、正直なところ、この地名の問題まで手が回っていない現状があり、大変申し訳なく思っております。

・この問題について継続的に発信され、強い思いをお持ちであることは、私も承知しております。すぐにお応えすることができず心苦しい限りですが重要な課題として引き続き認識してまいります。

(9)自己搬入の再開

関係課:クリーン推進課

【参加者発言(要旨)】

・コロナ禍以降中止されているクリーンセンターへの自己搬入(特に庭の剪定枝)を再開してほしい。

【市長発言(要旨)】

・市とクリーンセンターとの間で再開に向けた調整を進めており、昨日も市役所内で打ち合わせを行ったところです。正直なところ、組織が違うため調整が必要ですが、両組織のトップは私ですので、責任を持って進めます。

・来年度中に実現できるかまで断言はできませんが、特にご要望の多い庭木の剪定枝などの問題について、なるべく皆様のご期待に沿えるよう取り組んでまいります。

(10)投票率を上げる取り組みについて

関係課:選挙管理委員会事務局

【参加者発言(要旨)】

・選挙で子どもに配る記念品を、より魅力的なもの(いんザイ君ステッカー等)にできないか。

【市長発言(要旨)】

・子どもたちが投票所に来たくなるような工夫を考えてまいります

(11)市役所の環境

関係課:DX推進課

【参加者発言(要旨)】

- ・市役所本庁 1 階にある特産品紹介(展示)コーナーが、見るだけで終わっている。
- ・来庁者や職員が利用できるよう、特産品を実際に購入できる販売コーナーを併設してはどうか。
- ・飲料や軽食等も含め、市民・来庁者・職員双方にとって利便性が高まる。
- ・市役所を訪れる機会が少ない層にとって、印西の特産品を知る・買うきっかけになる。
- ・昼食や休憩場所が限られている職員の負担軽減にもつながる。

【市長発言(要旨)】

・ご提案ありがとうございます。担当課に共有し、市役所を利用される皆さんにとっても職員にとっても、良いなと思ってもらえるような環境づくりを進めてまいります。

【DX推進課補足】

市役所庁舎内の共用スペースの在り方については現在検討を進めています。職員の利便性向上に加え、市民や来庁者の皆様にとっても利用しやすく、魅力を感じていただける空間となるよう、活用方法を模索してまいります。

(12)職員の研修について

関係課:人事課

【参加者発言(要旨)】

- ・職員のレベルアップのために、メンタルヘルス研修や異業種交流研修も計画してみてはどうか。
- ・異業種交流では、民間企業の課長クラスなども参加するため、自分の置かれている立場以外の考え方を学ぶことができる。
- ・発言者自身も以前参加した経験があり、視野が広がり、大変参考になったため、市職員にもぜひ取り入れてほしい。

【市長発言(要旨)】

- ・今、研修については、いろいろな専門家の方に来ていただいて始めているところです。例えば、公民連携で公共空間に商業施設をつくるような取組の専門家であるとか、なるべく普段私たちが接しないような方々に研修へ来ていただけるようにしています。
- ・4月から人事課の中に「人材育成係」という新しい係ができます。そこでは、職員研修や職員育成について、専門的・体系的に考えていくチームになりますので、より皆さんの思いに寄り添える市役所、そして専門性の高い市役所を目指して頑張っていきたいと思っています。